

令和5年度 KIDSBASE さんかく 第三者評価結果

(1) 第三者評価機関

児童養護施設クリスマス・ヴィレッジ

施設長 青木 健



(2) 事業者情報

名称: KIDSBASE さんかく	種別: 児童発達支援事業 放課後等ディサービス
代表者氏名: 坂本輝子	定員(利用人数): 10名
所在地: 〒343-0044 埼玉県越谷市大泊 378-3	Tel 048-971-5025

(3) 評価実施期間

令和5年4月1日(契約日)～令和6年3月31日(評価結果確定日)

(4) 総評

令和6年2月23日13時から18時にて療育の視察、職員面談を行い、保護者・事業所用アンケートの結果を基に、以下の総評を行った。

◆特に評価が高い点

①個別の課題に即した療育が行われています。

保護者や関連機関の意見を取り入れながら、取り組むべき課題の取捨選択を一人一人に合わせて行うことができます。また、半年に一度のモニタリング以外にも、専門的なアセスメントツールを用いて定期的なアセスメントを行うことで、課題の優先順位を最適化する工夫がなされていると思います。療育前後だけでなく、朝礼や終礼の時間を利用して、療育内容や支援方針のすり合わせの機会を設けていることが、質の高い療育活動の提供に通じているのではないかと考えます。

②職員のスキルアップのための工夫がなされています。

安全・衛生管理やハラスメント防止、虐待・身体拘束防止を目的として、定期的に事業所内で研修や安全点検、訓練が行われており、いざというときにも落ち着いて運営を行うための準備がされているように感じられます。特に、児童も避難訓練に参加していたり、HPを活用して訓練の様子を保護者にも周知したりと、非常時に備えた安全管理の工夫がなされていると考えます。

◆特にコメントを要する点

来年度に向けた法改正により、家族支援が今にも増して福祉支援における重要な柱となってくると考えられます。変化に富んだ質の高い療育が提供されているにも関わらず、その内容が見えづらいというところが保護者用アンケートの結果からも見てとれます。今後は、事業所内で完結する支援ではなく、家族も巻き込んだ支援を行う中で、さらなる支援力の向上を図ることを法人全体に期待します。

(5) 第三者評価に対する事業者のコメント

昨年に引き続き、弊社で気づくことができなかった弊社の強み、また今後の課題について明確にして下さり、感謝申し上げます。昨年度の課題として挙げられておりました、各職員のスキルアップについては研修機会を設け、知識の定着や支援力の向上を図ることで改善傾向にあるのではないかと感じております。一方で、支援の内容が保護者様に見えづらいといったご指摘は、法人内でも課題として挙げられています。現在、保護者様にはHPやメッセージアプリを活用して療育内容についてお知らせをしておりますが、どうしてもお知らせの内容や頻度に偏りがあることも否めません。今後は、ご家族と一緒にご本人様の支援にとってより有意義な支援を考えていけるよう、より日常的な療育の様子や、事業所としての取り組みなどについても併せて保護者の皆様にお伝えしていけるよう努力してまいります。